



人口減少対策を考える

矢口町長は昨年の人口減少対策を考える「町民ミーティング」を受け、本年1月14日に町の人口減少対策方針とキャッチフレーズとしての「ただいま★いけだまち ～小さな町で大きな幸せ見つけよう～」を発表しました。その取り組みの現状と課題、また、人口減少対策のプラス要因の対策となる「出生率」向上に向けたヒントを国内外の事例から探ってみました。

◎ 池田町の人口減少対策方針

人口減少対策方針として次の4点を上げている。

- 人口維持を目標とすること
- 町民の転出を抑制すること
- 若年層の転入を促進すること
- 町民の心身の健康を保つこと

また、最重要施策として次の2点を上げている。

- ・ 若年層を対象にした住宅に関する施策
- ・ Uターンを促進する施策

今後の課題と提案

これらの方針を達成するための具体的施策やその全体像は、今だ明らかに示されていない。次の2つの提案をしたい。

- (1)全体像が分かる人口減少対策方針を明文化し、公開すること。また、町民ミーティングで出された意見と方針との関係も公開すること。
- (2) (1)の資料を基に、町民・議会・行政で意見交換を行い、力を合わせて方策を検討すること。

◎ 出生率日本一の岡山県奈義町の取り組みから

奈義町は2019年に出生率2.95を達成し、全国平均(1.36)を上回った。この成功の背景には、町独自の「子育て応援宣言※1」に基く、「手厚い子育て支援 ※2」と「地域全体で子どもを育てる ※3」取り組みの成果があると言われている。

【参考】2022年出生率：奈義町 2.21 全国 1.26
長野県 1.43 池田町 1.35(2017年)

※2 手厚い経済支援の内容

- ・ 高校生修学支援：生徒1人に年9万円支給

※3 地域住民による子どもの一時的あづかり等。

※1 奈義町子育て応援宣言 (要旨)

子ども達は次代を担うかけがえのない存在で奈義町を守り支えてこられたお年寄りと共に、奈義町の大切な宝ものです。

子どもを産み育てやすい環境をつくり、健康で心豊かなたくましい人を育てることは、町民みんなの大切な使命であり、この取り組みをいっそう推進し、奈義町に住めば子育てが安心、子育てがしやすい町との声が全国に広まることを目指します。

そのため、行政の役割を自覚し、子育て支援に力を入れ、「家庭・地域・学校・行政みんなで地域全体で子育てを支える町」を目指し、ここに「奈義町子育て応援宣言」を行います。

平成24年4月1日 岡山県奈義町

◎ 国外(フランス・スウェーデン)の取り組みから

フランス・スウェーデンは、一度低下した出生率を回復させた。その要因は次の3点と言われている。

- ・ 経済的負担の軽減：子育てにかかる費用を公的支援で大幅に軽減させたこと。
- ・ 仕事と家庭の両立支援：仕事を辞めずに子育てができるよう保育環境などの整備をしたこと。
- ・ 男女共同参画の推進：育児は男女がともに担うという意識改革を高めたこと。

上記の事例から、「出生率」向上には、子育て支援の充実、地域全体での取り組み、男女とも育児を担う社会体制が必要と言える。また、日本の賃金の低さも影響していると思われる。

